

収支決算について

## 平成 1 5 年度収支決算報告

( 平成 1 6 年 3 月 3 1 日 現在 )

収 支 決 算 に つ い て

収 支 計 算 書

正 味 財 産 増 減 計 算 書 ( 財 産 増 減 事 由 書 )

貸 借 対 照 表

財 産 目 録

監 査 報 告 書

社 団 法 人 全 国 大 学 体 育 連 合

平成16年5月13日  
総務部

## 収 支 決 算 に つ い て

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

公益法人会計基準に準拠した、会計処理に務めた。

なお、当期から公益法人会計ソフトを本格的に稼働させ、会計処理のシステム化に努めた。

総括表（一般会計と特別会計を総括したものの表）の収支についての要点は、以下のとおりである。

### 1. 収 入

#### 1) 入会金収入

大会員は単科大学が3校、個人会員が6名の入会があり、収入額は120,000円であった。

#### 2) 年度会費収入

年度会費収入額は、23,550,420円（納入状況の内訳は下表）であった（420円は昨年度未納分の納入）。

	国公立総合	国立単科	私立総合	私立単科	短期大学	個人
会員数	56	27	93	138	99	39
納 入	54	27	93	137	98	33
未 納	2	0	0	1	1	6

#### 3) 事業収入

教材ビデオの販売は384,100円（10本、前期は2本）、刊行物の実費頒布については4,180円であった。

#### 4) 預金利息収入

低金利により、9,049円の利息であった。

#### 5) 雑収入

「大学保健体育50年の歩み」の刊行に際しては広告を掲載し、掲載料150,000円は雑収入として処理した。創立50周年記念祝賀会における会費等（148,000円）も雑収入として処理し、合わせて298,000円の収入となった。

#### 6) 繰入金収入

一般会計から特別会計に繰り入れた（「特別会計」の収入）もので、予算額に比して約18万円の減となった。

#### 7) 当期収入

以上の結果、当期収入合計は24,575,544円となり、予算では計上していなかった雑収入298,000円があったこともあり、予算額に比して338,894円の増となった。

#### 8) 前期繰越収支差額

前期精算（前年1月31日現在）時点で見積もった予算額に比して、28万円余の増が当期に繰り越された。

## 収支決算について

### 2. 支 出

#### 1) 運営費・一般運営費

「一般運営費」は、予算額に比して8万円強の支出超となった。

人件費は35,916円の支出超となった。超過勤務等がその主な内容である。

顧問報酬費は8万円の残となった。司法書士への依頼を行わなかったことによる。

理事会、総会費は9万円強の支出超となった。旅費交通費が予算額に比して約10万円の支出超であったことによる。

慶弔費は5.5万円強の支出超となった。以前に役員を務められた3氏が逝去され、葬儀に際して生花を供えたこと等による。

賃借費は8万円強の支出超となった。デジタル複合機リース料、トランクルーム費用が予算額に対して支出超であったことによる。

備品費は3万円余の残となった。節減に努めたことによる。

#### 2) 事業費・一般運営費

「一般運営費」は、予算額に比して148万円余の残となった。

機関誌については、『大学体育』3つの号、『大学体育学』の第1号を発刊したが、『大学体育学』の発刊費の支払いを次期に繰り越したので、35万円余が残となった。

図書刊行については、『大学・短期大学の保健体育教育情報報告書』『成績評価に関する調査報告書』を発刊した。

シンポジウム開催費は、講師の交通費（東京 - 熊本）等の支出により予算に比較して、10万円余の支出超となった。

教材フィルム作成費は、販売した10本の作成費用204,100円を支出した。

表彰関係費は8万円強を支出し、12万円弱の残となった。

会議費、旅費交通費、印刷費は、予算に比してかなりの残となっているが、インターネットを利用しての連絡調整等で会議回数を必要最小限としたことなどによる。

事業運営関係雑給費の主なものは、「DAITAIREN情報(メルキュース)」に係わる経費である。これが2年目に入ってシステム化されてきたこと等により支出を抑えることができ、13万円の残となった。

通信運搬費は19万円余の残となった。発送物をできる限り機関誌「大学体育」発送時に同封し、また、諸会議等の連絡をインターネットを使用して行っているなどからである。

雑費は、予算額に比して1万円強の支出超となっている。この内容は銀行からの振り込み時の手数料や銀行口座の残高証明発行手数料である。

#### 3) 事業費・研修事業費

「研修事業費」は、予算額に比して76万円余の残となった。

研修会補助金支出の残21万円強は、夏期中央研修会収支の残金の返金による。

研修会調査準備費の残は、主管前年の支部等に補助している8万円で、来年度の冬期研修会主管が本部（研修部）であることから執行しなかった。

印刷費は予算額に比して18万円余の残となった。節減に努めたことによる。

支援補助金は、1団体に10万円を交付した。

#### 4) 事業費・研究調査費

## 収支決算について

「研究調査費」は、予算額に比して24万円余の残となった。研究助成費を除く小科目それぞれで、節減に努めたことによる。

研究助成費は、3件にそれぞれ20万円を助成した。

### 5) 事業費・支部補助金費

予算額のとおり、各支部へ補助金を交付した。

### 6) 事業費・国際交流費

国際交流費は、イラン開催のICHEPER・SD研究大会への派遣を見送った。

### 7) 記念事業費

記念事業費は、「記念フォーラム」関係経費が準備の会議費を含み 914,303円、「大学保健体育50年の歩み」印刷費 1,478,400円、記念祝賀会 990,510円、両者の準備会議費や通信運搬費等が393,965円で、計3,777,178円であった。予算に比して723,322円 の残となった。

### 8) 繰入金支出

一般会計から特別会計に繰り入れた（「一般会計」の支出）もので、予算額に比して約18万円の減となった。

### 9) 当期支出

以上の結果、当期支出合計は26,515,097円となり、当期支出予算中の予備費を除いた支出合計額 30,157,350円\* に比して 3,642,253円の残となっている。

\* 当期支出予算 39,636,650円 - 予備費予算 9,479,300円 = 当期支出予算 30,157,350

## 3. 当期の収支差額と次期への繰越額

### 1) 当期の収支差額

当期収入合計額は 24,236,650円、支出合計額は 26,515,097円で、1,939,553円の支出超となった。

当期は 5,920,700円の支出超の予算であったが、それに比して 3,981,147円 の支出を節減することができた。

### 2) 次期への繰越額

次期への繰越額は 13,746,285円となった。「精算報告」（1月末日現在）では、次期への繰越額は 12,400,000円と見積もったが、1,346,285円の増となった。

繰越額が精算時点における見積額を上まわったのは、収入では会費収入と雑収入等により34万円強の増があったこと、支出では「事業費・一般運営費」の見積額に比して会議費や旅費交通費の支出を抑えることができたとともに『大学体育学』発刊費の支払いを次期へ繰り越したことを含めて67万円余の残、創立50周年記念祝賀会の経費が当初予算に比して20万円弱を抑えることができたこと等による。

本連合の安定運営のためには、年度会費の納入時期と第一四半期の事業遂行との関係から、約 7,000,000円の繰越額が確保される必要がある。

以 上